

外で体を動かせる農作業を通じた障がい者就労支援

NPO法人 アゲイン (神戸市)



経緯

- ・実家が専業農家であった代表者が、自身の農地を活用して、ニート・引きこもりの方々と共に農作業を始めたことが、2008年3月にNPO法人アゲインを設立したきっかけ。
- ・支援を続ける中、彼らの中に発達障害を持たれた方が多いということがわかったため、2010年6月に農業を通じた就労支援事業所のアゲインファームを開所し、支援の幅をニート・引きこもりから発達障害を持たれた方まで拡大。

取組内容

- ・総面積4haの農地と、13棟のビニールハウスで米と野菜を栽培。
- ・施設利用者47名のうち農作業利用者は26~27名。作業は、1チーム7~8人で構成された4つのチームごとにスタッフ1名がついて作業に従事。チーム別にするにより、利用者一人一人にきめ細やかな指導ができ、また利用者のスキルに合わせた作業が可能。
- ・多品目(約50種類)の野菜を栽培し、またハウスを利用することで、冬場もミニトマトやピーマンなどの野菜が収穫できるので、1年を通じて作業が可能。
- ・周辺農家から依頼により、後継者のいない農地を引き受け米・野菜の栽培に取り組んでいる。当初の引き受け面積から次第に拡大。
- ・トラクターや草刈り機も数台完備しており、その他の設備も充実している。

今後の展望等

- ・就労支援はNPO法人設立当初から農作業をメインに据えており、スタッフは農家出身者や農業関係校出身者などが多いこともあり、現在まで栽培面積を広げながら続けてきた。
- ・今後もさらに米や野菜の栽培面積を増やしていきたい。栽培した作物は、地元の直売所やレストランに出荷している。
- ・現在ピーマンやパプリカ、インゲンを農薬不使用で栽培しているが、今後他の野菜も農薬不使用で栽培し、栽培面積の割合を増やしていきたい。

2021年12月20日調査